

和歌山だよい

平成22年
(2010) 11月号



日高別院 (御坊市)

CONTENTS

1. 和歌山県政トピックス・・・P1～P5
2. お知らせ・・・・・・・・・・ P6～P8
3. ふるさと歳時記・・・・・・ P9



数珠球

「お知らせ」

今月の知事メッセージですが、11月28日には知事選挙があります。本メッセージが選挙運動のようにとられるといけませんので、今月号と12月号は休止をさせていただきます。

今月の和歌山県政トピックス

* 最近の県政の動きや県内の話題などをピックアップしてお届けします。

●トルコ共和国国会議員一行がエルトゥールル号慰霊碑に献花！！

・10月19日、衆議院議長の招待により来日したトルコ共和国大国民議会のメフメット・アリ・シャーヒン議長、アーギャフ・カフカス議員（トルコ日本友好議員連盟会長）が串本町を訪れました。

・一行は、二階衆議院議員、仁坂知事、田嶋串本町長らとともに、トルコ軍艦エルトゥールル号殉難将士慰霊碑に献花を行いました。その後、大島の檜野地区の老人クラブと女性有志約30名が追悼歌を斉唱しました。

・シャーヒン議長は参列した地元の方々を前に、「トルコの人々はエルトゥールル号の乗組員のことを決して忘れない。日本の皆さんが私たちと同じように思っていることに感動を覚えた。」と話されました。

・今年6月に当地に移設されたアタテュルク騎馬像の前で記念撮影を行った後、トルコ記念館を訪れ、エルトゥールル号に関連した展示物を感慨深そうに見学。シャーヒン議長が今回の訪問を記念して記帳を行いました。（右写真）

・エルトゥールル号遭難事件から120年目にあたる本年は「トルコにおける日本年」であり、トルコ国内で様々な日本文化を紹介するイベントが行われています。9月には知事、谷県議会議長をはじめ約200名の県民がメルシン市を訪問し、慰霊式典や文化紹介事業に参加し、友好を深めました。



シャーヒン議長

●トルコ航空 関空＝イスタンブール線が増便！

・トルコ航空（TK）が来年の夏期スケジュール（平成22年3月27日～）から、関空＝イスタンブール線を従来の週4便から週5便へ増便することを決定しました。

・仁坂知事、谷県議会議長・伊藤関空会社専務が9月に、メルシン市を訪問し、その際、トルコ航空本社に対しプロモーション活動を行い、増便について強く要請していました。そうした努力が実り、今回の決定に至りました。

・増便を契機に、観光のみならずビジネスの面からも、さらなる交流が期待されます。

●首都圏駅ナカプロモーション ～時代絵巻で紀州和歌山の実りをPR～

・10月24日、「フルーツ王国和歌山のみかん・梅・柿をご賞味あれ 紀伊国屋文左衛門が山手線で大判振る舞い!？」と題して、東京の品川駅・渋谷駅・有楽町駅の3駅を舞台に、本県の生産量日本一トリオ「みかん・梅・柿」のプロモーションを行いました。

・仁坂知事自らが“紀伊国屋文左衛門”に扮し、弁慶や雑賀衆、平安衣装の仮装PRチームとともに山手線の各駅をリレープロモーション。品川駅ではみかん、渋谷駅では梅、有楽町駅では柿のPRを行ない、県産品(みかん、梅干、柿)を来場者にプレゼントしました。(右写真)

・和歌山県農業協同組合連合会の菖蒲奥(しょうぶおく)会長をはじめ、ありだ農業協同組合、紀州梅の会も参加。品川駅では有田みかんキャラクターの「ミカピー」も駆けつけ、旬のみかんをPR、渋谷駅では南高梅の梅干が当たるくじ引き抽選会、有楽町駅では柿PRキャラクターの「かき音(ね)ちゃん」と一緒に柿クイズ・ジャンケン大会を催すなど、それぞれに工夫をこらしたPRを行い、大いに盛り上がりました。

・当日は多くの人で賑わい、和歌山が誇るみかん・柿・梅の美味しさを首都圏の方々にPRすることができました。



●「和歌山なんだから、みかんをもっと食べようキャンペーン」を実施!!

・「温州みかん」は、和歌山県が生産量日本一ですが、近年、全国的に消費量が減少しています。

・このため、温州みかんのPRと消費拡大を目指し、県が主催する委員会や審議会等の会議で、和歌山県産の温州みかん(生果)を提供する「和歌山なんだから、みかんをもっと食べようキャンペーン」を今年度から実施しています。

・県内のみかん主産地である市町村にも実施を呼びかけ、県をあげて、温州みかんの消費拡大に取り組みます。



●障害者福祉施設 はまゆう作業所の商品「切り干し大根、切り干し大根にんじんミックス」が厚生労働大臣表彰を受賞!

・10月29日、「はまゆう作業所(田辺市上屋敷町)」の製品「切り干し大根、切り干し大根にんじんミックス」が、全国の福祉施設の取組事例を紹介する「『至福のお届け』一好事例発表、展示・即売会」において、厚生労働大臣表彰を受賞しました。選定委員からは、「短時間で戻せ、手軽に調理でき、生大根のパリパリ感と辛み・風味がしっかりと保持されて美味しい。」など好評を博しました。

・製造方法にこだわり、積極的に販売に取り組む本商品は、今年2月に開催された「わかやま産品商談会 in 大阪」にも出展され、企業との商談が成立しました。現在好評発売中です。

(商品についてのお問い合わせ先) 特定非営利活動法人 はまゆう作業所 TEL/FAX 0739-26-2665

● (株) ファミリーマートと和歌山県が「包括的連携協定」締結！！

・10月26日、(株)ファミリーマート(本社：東京都／代表取締役社長：上田準二)と和歌山県が県産オリジナル商品の開発や販売、観光情報の提供など地域の活性化を目的とした9項目の協定を締結しました。(右下参照)



【連携協定項目】

①	県産オリジナル商品の開発及び販売に関すること
②	健康増進及び食育に関すること
③	観光情報の発信及び観光の振興に関すること
④	地域防災への協力に関すること
⑤	地域の安全及び安心に関すること
⑥	子ども及び青少年の育成に関すること
⑦	高齢者及び障害者の支援に関すること
⑧	環境対策及びリサイクルに関すること
⑨	その他地域社会の活性化及び住民サービスの向上に関すること

・締結会場では、この協定により開発した県産品を使用したオリジナル商品(下表参照)の試食会が行われました。仁坂知事は「和歌山で生まれた商品・県産品が近畿をはじめ全国に展開できるチャンス。夢がどんどん広がっていく。」と話しました。上田社長は、「『わかやまポンチ』は大変美味しく良くできている。今回の近畿地区の記念フェアの反応次第では全国発売も考えていきたい。」と今後とも取り組みを継続していくことを述べました。

・ファミリーマートでは、10/26～11/22まで「包括記念締結記念フェア」を開催。期間中、下記のオリジナル商品7アイテムを関西地区(和歌山県・兵庫県・滋賀県・大阪府・京都府・奈良県)約1300の店舗で販売しています。

・また、和歌山県内全店舗と大阪府内の一部の店舗合計83店舗では「和歌山県産品コーナー」を設置し、プレミアム和歌山3品を含む10品の販売とPRを行っています。

	<p>【わかやまポンチ】 (パンナコッタとスモモージュ) レ)和大附属小学校との コラボコンビニスイーツ</p>	<p>【オリジナル商品 7アイテム】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>(商品名)</th> <th>(使用県産品)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>手巻 しらす野沢菜(おにぎり)</td> <td>しらす、うめの塩</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>きのくに御膳(食育弁当)</td> <td>紀州産梅、しらす、鶏ムネ肉</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>紀州産梅としらすの Pasta</td> <td>紀州梅、しらす</td> </tr> <tr> <td>④</td> <td>和歌山みかんクリームパン</td> <td>みかん</td> </tr> <tr> <td>⑤</td> <td>和歌山みかんクリームサンミー</td> <td>みかん</td> </tr> <tr> <td>⑥</td> <td>和歌山みかんのロールケーキ</td> <td>みかん</td> </tr> <tr> <td>⑦</td> <td>わかやまポンチ</td> <td>梅の甘露煮、みかん、はっさく</td> </tr> </tbody> </table> <p>*すべての商品パッケージには、平成23年5月22日に開催の第62回全国植樹祭のシンボルキャラクター『キノピー』を添付しPRいただいています！</p>		(商品名)	(使用県産品)	①	手巻 しらす野沢菜(おにぎり)	しらす、うめの塩	②	きのくに御膳(食育弁当)	紀州産梅、しらす、鶏ムネ肉	③	紀州産梅としらすの Pasta	紀州梅、しらす	④	和歌山みかんクリームパン	みかん	⑤	和歌山みかんクリームサンミー	みかん	⑥	和歌山みかんのロールケーキ	みかん	⑦	わかやまポンチ	梅の甘露煮、みかん、はっさく
	(商品名)	(使用県産品)																								
①	手巻 しらす野沢菜(おにぎり)	しらす、うめの塩																								
②	きのくに御膳(食育弁当)	紀州産梅、しらす、鶏ムネ肉																								
③	紀州産梅としらすの Pasta	紀州梅、しらす																								
④	和歌山みかんクリームパン	みかん																								
⑤	和歌山みかんクリームサンミー	みかん																								
⑥	和歌山みかんのロールケーキ	みかん																								
⑦	わかやまポンチ	梅の甘露煮、みかん、はっさく																								

●韓国LED企業が御坊市に進出！！

・11月2日、Lotte Data Communication 株式会社（本社：韓国ソウル特別市）、株式会社 SHINWHALED（本社：韓国ソウル特別市）、株式会社ビジュアル・ファースト（本社：田辺市）、和歌山県及び御坊市の間で、LED 製造事業（ロッテ情報通信和歌山 LED（仮称））の事業展開についての覚書が交わされました。

・電球からの切り替えが早急に進むとされる LED 製造事業は、今後さらなる成長が見込まれる分野です。

・覚書に基づいて、御坊市の工場稼働が開始されれば、県内では、韓国からの初めての企業進出となり、本県企業誘致・県経済にとって大きな弾みとなります。



左から(株)ビジュアル・ファースト渡部代表取締役
株式会社 SHINWHALED 沈代表理事
Lotte Data Communication 株式会社 呉代表理事
仁坂知事、柏木御坊市長

●日進化学（株）が紀北橋本エコヒルズ「紀ノ光台用地」へ進出！！

・日進化学(株)（本社：大阪市）が橋本市に新工場を建設することが決定し、県、橋本市を交えた進出協定を締結することになりました。（協定の締結は12月を予定しています。）

・同社は、各種化粧品及びエアゾール製品の受託充填・加工を手がける企業で、今回、取引先の新事業立ち上げによる需要増に対応するため、橋本市に進出することとなりました。

・新工場は、平成24年4月に操業予定で、78名（正社員40名、非正社員38名）の雇用が見込まれます。

●湯浅御坊道路の4車線化にかかる都市計画審議会を開催！

・早期事業化を目指し都市計画決定の手続きを進めている「湯浅御坊道路」の4車線化について、11月15日に『第102回 和歌山県都市計画審議会』を開催しました。

・平成19年12月から環境影響評価手続きを開始し、この審議会を経て都市計画決定することで、事業化に向けた県の準備が整います。事業主体や整備手法を決定し、直ちに事業化がなされるよう積極的に国に働きかけていきます。



●「わかやま観光立県宣言セレモニー」開催！！

・11月7日、「わかやま観光立県宣言セレモニー」が、県民文化会館大ホールで盛大に開催されました。

・本年4月に「観光立県和歌山」の実現をめざし、議員発議による「和歌山県観光立県推進条例」が施行されています。

・条例では、県、市町村、県民、観光関係者が一体となって観光振興への取り組みを推進していくことが定められています。

・このセレモニーは、条例の基本理念である県民総参加による観光振興への気運を盛り上げようと開催されたもので、「笑い祭(日高川町)」「那智の田楽(那智勝浦町)」「おどるんや〜紀州よさこい祭り(和歌山市)」と、和歌山を代表する祭りが披露され満員の会場を盛り上げました。

・仁坂知事から、次のような「観光立県宣言」が行われました。

「和歌山県には世界遺産をはじめ美しい自然、温泉などの素晴らしい資源がある。これら資源に磨きをかけ、首都圏をはじめ近畿圏・東海圏、そして海外から観光客を呼び込むために、県民一人ひとりが観光振興に向けた行動を起こしていこう！」

・セレモニーの締め括りには、和歌山県ふるさと大使である坂本冬美さんのミニコンサートが開催されるなど、県民総参加による観光振興への気運が大いに盛り上がった1日となりました。



●ゴルフと温泉を目的とした観光交流促進の協力宣言を行いました（IN 大連）

・10月15日、中国大連市で開催された「第7回東アジア国際旅行博覧会」において、和歌山県は、中国人観光客を積極的に誘客するため、遼寧省・大連市の関係機関との間で、ゴルフと温泉を目的とした「観光交流促進協力宣言」を行いました。

・協力宣言は、「ゴルフ」と「温泉」の別々に行われ、ゴルフでは、①域内ゴルフ場の情報発信への協力、②ゴルフ関係事業者等と協力したゴルフ観光のブランド化推進、③ゴルフを目的とした観光商品の販売促進への協力などが、温泉では、①観光交流の発展に向けた情報交換の促進、②域内の温泉に関する情報発信への協力、③観光客誘致に係る旅行関係事業者の取組への支援、④温泉資源を活かしたモデルコースの相互提案などが宣言されました。

・中国では、特に富裕層のゴルフ人口が増加していること、また中国人観光客の訪日動機の第一位は温泉であることなどから、この協力宣言をきっかけに、多様で魅力的なゴルフ場や豊富な温泉資源を有する本県に、ますます多くの中国人観光客が訪れることが期待されます。

「日本画が結ぶ心—平山郁夫追悼展示、小沢道治展」が開催されます！！

和歌山県立近代美術館・博物館名誉館長であった平山郁夫氏(1930-2009)の画業を偲び、同氏の作品と遺品の紹介による追悼展示が開催されます。

また、和歌山県九度山町に生まれ、教職のかたわら日本画を描き、日本美術院を舞台に活動を続けて、平山美知子氏(故・平山郁夫氏夫人、平山郁夫シルクロード美術館長)にも影響を与えた小沢道治氏(1915-2000)の画業も紹介されます。

- 1 会 期：平成 22 年 11 月 20 日(土)～12 月 23 日(木・祝日)
- 2 場 所：和歌山県立美術館 9 時 30 分～17 時(入場は 16 時 30 分まで)
ただし 11 月 20 日は 10 時 30 分より 休館日：毎週月曜日

3 内 容

平山郁夫追悼展示

○平山郁夫：昭和 5 年広島県生まれ。昭和 27 年東京美術学校日本画科卒業。日本美術院を舞台に活躍し、シルクロードをテーマに独自の作品を発表するかたわら、日本美術院理事長、東京藝術大学学長なども務め、さらに世界遺産保存運動など国際活動にも精力的に取り組んだ。平成 21 年 12 月 2 日逝去。

○出品作品・点数

・大作 2 点、30 号 7 点、他 約 30 点を予定

小沢道治展

○小沢道治(おざわみちはる)：大正 4 年生まれ。昭和 16 年東京美術学校日本画科卒業。昭和 30 年に院展に初入選し、昭和 35 年に院友、昭和 56 年に特待。平成 12 年逝去。古社寺や山、森の風景を主な題材とした。

○出品作品・点数

・院展出品作品 23 点、春の院展(春季院展)出品作 11 点、その他素描などを含め計 60 点を予定

4 関連事業

- (1) 開会式 平成 22 年 11 月 20 日(土) 午前 10 時より
- (2) 平山美知子氏(平山郁夫シルクロード美術館館長)講演会
「松山家と平山家の関係」、11 月 20 日(土) 午前 11 時より、近代美術館 2 階ホールにて。(無料、先着順)
- (3) お茶会(協力 表千家和歌山県青年部)
11 月 21 日(日) 午前 10 時より午後 3 時まで、能舞台(近代美術館・博物館前庭)にて。参加無料、ただし整理券が必要です。
- (4) 平山弥生氏(故・平山郁夫氏長女)講演会「万葉に魅せられて」
11 月 23 日(火) 午後 2 時より、近代美術館 2 階ホールにて。
(無料、先着順)
- (5) 中国琵琶奏者・涂善祥(とぜんしょう)氏による「平山郁夫先生追悼コンサート」
12 月 11 日(土) 午後 1 時～、午後 3 時～ 参加無料

* お問い合わせ先：県立美術館(073-436-8690)



平山郁夫 《流水無間断(奥入瀬溪流)》 1994年 171.2×727.2cm 平山郁夫シルクロード美術蔵



和歌山の旬のこだわり情報をお届けします

「がんこ農家」 鞆渕の黒豆



豊かな自然が残る鞆渕地区
初夏にはあちこちでホタルが飛び交う

紀の川市桃山町から東に山道を登っていくと、標高約 400m の山間集落「鞆渕(ともぶち)」地区に辿り着きます。そこでは 30 年以上前から、大粒で柔らかく、皮が薄い極上の黒豆が栽培されています。おいしさの秘密は、昼夜の寒暖差が大きいことや、昔ながらの栽培方法にとことんこだわる農家の頑固さにあります。この「がんこ農家」が「鞆渕の黒豆をブランド化しよう！」と立ち上がりました…。

がんこ農家のこだわり

がんこ農家は、おいしさを追求するためなら労力や時間を惜しまず、土づくりにも手間をかけ、11 月の収穫期になると、すべて天日干しで黒豆を乾燥させます。「機械で急激に乾燥させると、旨味や香りが飛んでしまうんです」と教えてくれたのは JA 紀の里の谷さん。鞆渕の黒豆は太陽の恵みを目一杯受けて乾燥させるため、黒豆本来の風味やコクを楽しんで頂けます。「一度、鞆渕の黒豆を口にしたら、もう他の黒豆は食べられなくなりますよ」と自信たっぷりの笑顔で話してくれました。

天日干しをした後は、選別作業。真っ白な紙を敷いたお盆の上に黒豆を置き、一粒一粒手作業で一級品の黒豆だけを見極め、厳しい審査に合格したものだけが出荷されます。

このようながんこ農家のひたむきな姿勢がみんなの心を動かししました。JA 紀の里、紀の川市、和歌山県もメンバーに加わり、約 4 年前から「黒豆の里・むらおこしプロジェクト」に取り組んでいます。農業体験イベントを開催したり、黒豆を使った商品を作ってもらおうよう食品加工会社に働きかけるなど地域が一体となって、ブランド化を目指しています。



幻の黒枝豆

9月下旬から10月末までにしか手に入らない幻の黒枝豆。出荷量が少なく、収穫期間が短いため貴重な枝豆です。さやと粒が大きい鞆渕の黒枝豆をぜひご賞味ください。

JA 紀の里・谷さんがおすすめする食べ方は「焼き枝豆」。作り方は簡単！塩をふって、アルミに包んで10分ほど蒸し焼きにするだけ。

「これなら私にもできる！」ということで料理が苦手な新人 T さんもおうちでトライしたそうです。「普段食べている枝豆に比べて、香りが違いました！ふっくらとしていておいしかったです！！」と嬉しそうに報告してくれました。皆さんも来年の秋はビール片手に、幻の黒枝豆はいかがですか？



少し濃い緑色をしている黒枝豆

おばあちゃんの黒大豆煮

“おばあちゃんの味”が魅力！の煮豆がめっけもん広場や紀の里農協ホームページ（★下記参照下さい）などで今年の4月から発売されています。

「おばあちゃんの味に近づきたい」という思いから、商品開発が始まりました。実際に鞆渕地区のおばあちゃんに豆を煮てもらい、一番おいしい味を選び、その味に近づけるために試行錯誤を繰り返し、出来上がった商品が「極上大粒！鞆渕がんこ農家の【黒大豆煮】」です。

どこか懐かしいおばあちゃんの優しい味をお楽しみください。



がんこ農家の新たな挑戦

がんこ農家の平均年齢は約75歳。とても意欲的な彼らの挑戦はとどまることを知りません。次なる挑戦は、糖度が13度もあって甘い「チヂミホウレンソウ」です。形は牡丹のように平べったく、無農薬で育てられます。

どんな味がするのか気になるところです。1月の収穫をお楽しみに♪



★「がんこ農家の黒豆」は、紀の里農協のホームページでご購入いただけます。

<http://www.ja-town.com/shop/c/c5602/>

～ 日高別院・日高港新エネルギーパーク・Sio トープ・ハマボウの群生地
豊かな自然と歴史、花に彩られたまち（御坊市） ～

・御坊市は、和歌山県のほぼ中央に位置し、清流日高川が流れる紀中の中核都市です。温暖な気候を活かした花の栽培が盛んで、スターチス・スイートピーは、全国屈指の出荷量を誇ります。



日高別院（表紙写真）

・御坊市にある「日高別院」。昔から土地の人々に親しまれ、「御坊所」「御坊様」「お御堂さん」と呼ばれてきました。そこから「御坊」の地名になり、今も日高別院を中心に古い町並みが残っています。寺内町として栄えていた頃、「御坊東町は箒はいらぬ、お御堂参りの裾で掃く」といわれたほどの多くの人々で賑わいました。境内の大イチョウは、樹齢 400 年で県の天然記念物に指定されています。

日高港新エネルギーパーク（E E パーク）

・新エネルギーを分かりやすく紹介するPR館。ゲーム感覚でクイズに挑戦する研究施設やソーラーカーのドライブが楽しめる公園施設、風力発電、太陽光発電など、楽しみながら新エネルギーを学べます。和歌山県で唯一「新エネ百選」にも選ばれています。



（「新エネ百選」…国等が、新エネルギーなどの先進的な利用と取組で評価されるものを全国各地から選んだものです。）

Sio トープ（シオトープ／日高港塩屋緑地）

・Sio トープは、海水が流れる親水池を取り囲むように広がった緑地公園。親水池には磯辺の小魚などを放流し、子供たちが間近で観察できるようになっています。そして、そこにあるのは、和歌山の妖怪といわれている「ぬらりひょん」などの像。「ぬらりひょん」とは、正体不明で、家に上がり込みお茶を飲んだりする妖怪。Sio トープ内には、そんな和歌山の妖怪たちが、「水木しげるが描くゲゲゲの鬼太郎と和歌山の妖怪」像として設置されています。（鬼太郎やねずみ男などもあります。）

ハマボウの群生地

・ハマボウは、フヨウの仲間。7～8月に大きな黄色い花を咲かせます。温暖な海岸地に自生するので、黒潮海流による温暖な日高川河口付近はハマボウの群生地です。



御坊市ホームページ <http://www.city.gobo.wakayama.jp/>

～編集後記～

立冬を過ぎ、日が経つごとに寒くなってまいりました。皆様方にはいかがお過ごしでしょうか。

さて、平成20年4月の発刊以来、和歌山県内の各市町村をご紹介させていただいてきた「ふるさと歳時記」も今月号の御坊市をもって県内一巡をいたしました。

昭和の大合併後、和歌山県には50の市町村がありましたが、平成の市町村合併により、現在30市町村となっています。中には皆様方がご存じではない市町村名も登場したことと思います。

「和歌山だより」の限られたスペースの中で、表紙の写真とできるだけリンクさせ、歴史や文化・観光など、それぞれの市町村が持つ素晴らしい魅力を出来るだけ凝縮して紹介してまいりました。

和歌山には、皆様方にまだまだ十分お伝え出来ていない魅力、観光資源（温泉やグルメ、歴史・文化等）が沢山あります。これからも、和歌山の持っている、素晴らしい魅力をもっともっと発信してまいりますのでよろしくお願い致します。

寒さが厳しくなる折、皆様方には風邪など召さぬよう、お体に十分気をつけてお過ごし下さい。

知事室秘書課長 藤川 崇

★「和歌山だより」Web版を和歌山県ホームページにアップしています。Web版ならではの美しい画面を楽しんで頂けますので是非ご覧下さい。

和歌山だよりに対するご意見・ご感想をお聞かせ下さい。また、皆様がお持ちの和歌山に関する情報をご提供下さい。今後、皆様のお声を紙面づくりに活かしていきたいと考えています。

（下記のFAX（様式自由）、E-Mail等をお願いします。）

■FAX 073-422-4032

■E-mail e0001003@pref.wakayama.lg.jp

和歌山県のホームページ

<http://www.pref.wakayama.lg.jp/>

ふるさと和歌山応援サイト <http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/furusato/>

*個人情報につきましては、「和歌山だより」の発行以外の目的には、使用いたしません。



2010年（平成22年）11月 NO.32

和歌山県 秘書課

〒640-8585 和歌山県和歌山市小松原通1-1

TEL 073-441-2022